



手・足の麻痺（マヒ）に対する 新しいリハビリテーション

作業療法室では、脳卒中後のリハビリテーションを行っています。脳卒中になると、手や足に麻痺が生じることがあり、日常生活に支障が生じることにつながります。当院では、麻痺の治療に、随意運動介助型電気刺激装置（以下IVES）やCI療法など、脳卒中ガイドラインで推奨された根拠の高いリハビリを提供しています。

今回は、脳卒中ガイドラインでグレードB（行うよう勧められる）に推奨されている、低周波を使用したIVESの紹介をさせていただきます。これまでの低周波治療は、機械のタイミングで筋肉に電気信号を送り治療が行われましたが、IVESは、患者さんから手や足の筋肉に発信された電気信号を感知し、その信号に合わせて筋肉の動きをサポートする働きをしてくれます。麻痺になると、手の動きが悪くなり、握んだり握ったりするリハビリも難しくなりますが、IVESを使用することにより困難な動きが可能となりリハビリテーションの幅を広げることにつながります。

適応がありますが、興味のある方は一度お問い合わせください。

作業療法士 狩野 英明

